

第 6 章 試験・検査

第 1 条 中間（工場）検査

主要機器類は工場製作完了後、製作会社において、監督職員又は検査職員の指示する中間（工場）検査を受けなければならない。

- 1) 検査実施 1 ヶ月前に検査請求書、要領書、を監督職員に提出し承諾を得なければならない。
- 2) 検査実施前に社内検査記録を監督職員に提出し承諾を得なければならない。
- 3) 主要材料等で指定のある材料はテストピ - スなどを採取し材料検査およびミルシートなどの資料を提出しなければならない。
- 4) 主要機器以外でも、本府で特に必要と認めるものについては中間（工場）検査を行う。
- 5) その他のものは製作会社試験成績表を提出しなければならない。

第 2 条 工場製品検査区分表の作成

請負者は、機器製作会社および検査日程を記入した工場製品検査区分表を作成し、本府に提出しなければならない。

第 3 条 搬入確認

請負者は、機器又は材料・購入品を現場に搬入するにあたり、監督職員による搬入確認を受けなければならない。

第 4 条 段階確認及び、中間（現場）検査

請負者は、現場施工における各工程段階で、監督職員による段階確認を受けなければならない。又、完成検査時に水没部等で確認が困難な現場検査について、監督職員又は検査職員の指示する中間（現場）検査を受けなければならない。

1) 確認又は検査を実施する項目

墨出し、斫り、配筋、型枠、コンクリート打設時確認

アンカ - 施工確認

機器の仮組立、溶接確認・検査

機器据付確認・検査

配管確認・検査（水圧、通水テストを含む）

塗装確認・検査

単体運転検査

土木工事出来形検査

配線工事完了後、絶縁抵抗測定および絶縁耐力試験

接地極埋設後、接地抵抗の測定

非常用照明装置は設置後、照度測定

照明器具は取付け及び配線終了後、点灯試験

コンセントは取付け及び配線終了後、極性試験

分電盤は据付け及び配線終了後、外観構造及びシ - ケンス試験

動力制御盤は据付け及び配線終了後、J E M 1 3 2 1 もしくは同等以上の規格による現地試験（外観構造・シ - ケンス・動作特性）

受変電設備機器の据付け及び配線終了後、構造試験・絶縁抵抗・耐電圧・継電器特性・総合動作・接地抵抗測定

自家発電設備機器の据付け及び配線終了後、始動停止・充気または充電・負荷試験及び燃料消費率・振動・保安装置・継電器・絶縁抵抗・耐電圧・接地抵抗・排気背圧測定・圧力試験

無停電電源装置の据付け及び配線終了後、 に準ずる他、自動・手動にて始動・停止・垂下特性・停電保障時間測定・動作表示・故障表示動作確認

電話設備の据付け及び配線終了後、接地絶縁抵抗測定

構内交換設備の据付け及び配線終了後、構造・機能試験

その他、監督職員又は検査職員が必要と認めるもの

2) 段階確認実施 3 日前までに段階確認書、同要領書を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。

3) 中間（現場）検査実施 1 週間前までに検査請求書、同要領書を提出し、検査実施前に社内検査記録を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。

4) 機器類は原則として実負荷（又は相当負荷）で連続運転を行い、温度上昇、騒音、振動、耐圧、漏洩、工場試験運転時の性能及び各種検査の確認、作動検査、各種保護装置の動作試験等、その他必要な試験検査を行う。

5) 槽に接続する配管接続部は、原則として漏水または漏気検査を行う。

6) 気密試験等

気密試験は原則として指定の流体で規程圧力を 6 0 分以上保持する。なお、官公庁検査があるタンク配管系統については、原則として検査証で代替する。

試験圧力は、特に指定のない場合は常用圧力の 1 . 5 倍とするが通産省令、労働省令、J I S（日本工業規格）等に規程のあるものはその基準で行う。

7) 機器の据付、配管工事が完了後、請負者は、専門技術者の指導のもとに機器類の調整、注油、配管部の内部洗浄、その他の運転に必要な諸準備を行い運転が出来るように設備の調整を行うものとする。

8) 請負者は据付現場でなければ性能確認を行う事が困難な機器・プラント（脱水機設備、焼却設備、脱臭設備等）の薬品（カセイソ - ダ、硫酸、塩酸、高分子凝集剤、消石灰、塩化第二鉄等）については、性能確認に支障のないよう必要量を納めるものとする。

第 5 条 関係官庁（法定）検査

関係官庁などの検査を要する場合は、必要な手続きをし、受験、合格した後、完成検査を実施しなければならない。

第 6 条 試運転

1 . 請負者は試運転要領書を関連する他工事請負者と共に作成し、その総合試運転要領書に基づいて関連工事請負者と共に試運転を行い、その結果を速やかに報告しなければならない

2 . 試運転の実施にあたっては監督職員の指示による他、次により行うものとする。

試運転の範囲及び実施時期は本特記仕様書の「第 2 編 特記事項」による。

請負者は、監督職員と協議し運転実施のために必要な調整を行い、また関連する別途工事請負者とも連絡を密にし、試運転の円滑な実施を図るものとする。

第 7 条 完成検査

工事完成後、下記の検査を行う（第 1 章・第 1 4 条の書類は完備されていること）

1) 書類検査

2) 現場検査

第 8 条 検査費用

検査に要する費用はすべて請負者の負担とする。